

ウイルス分離及び抗原検出情報 2007-2008年

仙台市内病院

検体採取日

	2008年			
	第50週	第51週	第52週	第1週
	12月10日～12月16日	12月17日～12月23日	12月24日～12月30日	12月31日～1月6日
インフルエンザウイルス A(H1)型	19	26	0	0
A(H3)型	0	0	0	0
B型	0	0	0	0
C型	0	0	0	0
未同定	0	0	1	0
ハラインフルエンザウイルス 1型	0	0	0	0
2型	0	0	0	0
3型	0	0	0	0
4型	0	0	0	0
RSウイルス	23	9	10	0
(実質患者数) [†]	(16)	(7)	(9)	(0)
ムンプスウイルス	0	0	0	0
麻疹ウイルス	0	0	0	0
アデノウイルス	2	5	1	0
エンテロウイルス	0	1	0	0
ライノウイルス	0	1	0	0
単純ヘルペスウイルス	1	0	0	0
サイトメガロウイルス	3	2	1	0
分離総数	48	44	13	0
検査検体総数	124	116	74	0

抗原検出状況 (2007年12月31日-2008年1月6日判明分)	2008年	第1週
	件数	陽性数
仙台医療センター	38	3
インフルエンザウイルス		(A型3)
RSウイルス	14	14
ロタウイルス	0	0
アデノ(呼吸器)	5	1
アデノ(眼科)	1	0
アデノ(便中)	0	0
水痘帯状疱疹	0	0
単純ヘルペス	0	0
検査検体総数	58	17

†: RSVのウイルス分離は同一患者から複数の検体が提出される場合がありますので、この欄で実質患者数をお示ししております。

なお、これらの成績は主に以下の医療機関から定期的に送られてくる検体を解析したものです。

*永井小児科医院、庄司内科小児科医院、仙台医療センター、東北厚生年金病院、東北労災病院

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
臨床研究部ウイルスセンター 2008年1月7日